

# 南硫黄島周辺の海底火山の最近の火山活動について\*

海上保安庁水路部

伊豆小笠原・マリアナ火山弧に属する三つの海底火山，福神海山，南日吉海山および通称福德岡の場は断続的な火山活動を行っており，それらの火山活動の経過については本会報第8号および第9号に報告したが，報告後のそれらの海底火山の火山活動の経過について以下に述べる。

## 1 福神海山（通称福神岡の場）北緯 21 度 56 分，東経 143 度 28 分

昭和 52 年の春から秋にかけては火山活動はほとんど認められなくなり，その活動は一時終息したかのようにも思われたが昭和 53 年 1 月に再び活動を開始した。

当庁が入手した資料による昭和 52 年 4 月 6 日以降の火山活動の経過は第 1 表のとおりである。

第 1 表 福神海山の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1977 年 4 月 7 日	変色水認められず	海上自衛隊 P 2 J
4 月 8 日	〃	〃
4 月 14 日	〃	〃
4 月 21 日	直径約 50 m の薄緑色変色水，230 度方向に幅 50 m，長さ 300 m	〃
4 月 22 日	変色水認められず	〃
5 月 1 日	〃	〃
5 月 12～13 日	〃	〃
5 月 16～17 日	〃	〃
6 月 8 日	〃	〃
7 月 14 日	〃	〃
7 月 22 日	〃	〃
8 月 11 日	〃	〃
8 月 15 日	〃	〃
9 月 11 日	〃	〃
10 月 14 日	濃い緑色でところどころがかっ色の変色水，270 度方向に幅 50～60 m，長さ 4.5 km	〃
12 月 8 日	変色水認められず	〃
1978 年 1 月 10 日	濃い緑色の噴出点まとまって 5 個。変色水は薄い緑色 270 度方向に長さ 3.6 km，180 度方向に長さ 9 km	〃
1 月 24 日	直径 50 m の乳白色噴出点，噴出の周期 2 分，260 度～280 度方向に長さ 5.5 km の変色水	〃

\* Received May 1, 1978

1月25日	変色水あり，水深23mを測得	第26伸光丸
1月26日	直径約60mの黄緑色噴出点，それに続く濃い緑色変色水の長さ7～9km。噴出は間断なく続いており時折薄茶色になる（写真4）。	海上保安庁 YS-11 （701号機）
”	変色水午後には見えなくなる。	第25伸光丸
2月23日	変色水認められず	海上自衛隊 P2J
3月24日	直径約40mの乳白色噴出点，わき出しの周期4分，240度方向に幅50m，長さ230mの変色水	”
4月13日	変色水認められず	”

## 2. 南日吉海山（通称日吉沖の場）北緯23度30.4分，東経141度54.3分

昭和52年春から秋にかけては火山活動は全く認められなかったが，昭和53年1月には再び火山活動を開始した。活動の規模は昭和52年1月当時にくらべて数段階弱いものである。

当庁が入手した資料による昭和52年4月6日以降の火山活動の経過は第2表のとおりである。

第2表 南日吉海山の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1977年 4月 7日	変色水認められず	海上自衛隊 P2J
4月 8日	”	”
4月14日	”	”
4月22日	”	”
5月 1日	”	”
5月12日	”	”
5月16～17日	”	”
5月20～31日	海洋測量（海底地形，地質構造，地磁気，重力）実施。 変色水認められず	海上保安庁測量船 昭 洋
5月22日	変色水認められず	海上保安庁 YS-11（701号機）
5月25日	”	海上自衛隊 P2J
6月 8日	”	”
7月14日	”	”
7月22日	”	”
8月11日	”	”
8月15日	”	”
9月 7日	”	海上保安庁 YS-11（701号機）
9月11日	”	海上自衛隊 P2J
10月14日	”	”
11月15日	”	”
11月25日	”	”
12月 8日	”	”
12月23日	”	”

1978年1月10日	変色水認められず	海上自衛隊 P 2 J
1月24日	〃	〃
1月26日	薄い緑色変色水、幅 1.8 km、長さ 7 km程度のものが 4本平行して存在	海上保安庁 YS-11(701号機)
2月23日	薄い緑色変色水、幅 1.8 km、長さ 3.6 km	海上自衛隊 P 2 J
3月24日	直径 7 kmの半月状変色水域、色は乳白色。そこから 南に約 18 kmの地点に幅 450 m、長さ 3.6 kmの乳白 色変色水域	〃
4月13日	変色水認められず	〃

### 3. 福徳岡の場 北緯 24 度 18.1 分、東経 141 度 29.0 分

南硫黄島山頂から北々東 4 ~ 5 海里の地点に噴出点を有する海底火山は漁礁の名称により通称「福徳岡の場」と呼ばれている。

噴出点は 1 か所ではなく南北約 1 海里の範囲にいくつか存在する模様である。

当庁が入手した資料による昭和 52 年 4 月 6 日以降の火山活動の経過は第 3 表のとおりである。

第 3 表 福徳岡の場の火山活動の経過

期 日	活 動 状 況	通報・観測者
1977年4月7日	直径約 140 m の乳白色噴出点、140 度~180 度の広がりをもって幅 900 m、長さ 1.8 km の変色水	海上自衛隊 P 2 J
4月8日	直径約 180 m の乳白色噴出点、噴出の周期 3 分。220 度方向に幅 200 ~ 300 m、長さ 1100 m の薄い緑色変色水	〃
4月14日	噴出の周期約 12 分。220 度方向に幅約 50 m、長さ 1400 m のコバルトブルーの変色水	〃
4月21日	直径 50 m のコバルトブルーの変色水域	〃
4月22日	噴出点 2 か所が 200 m 間隔で存在。直径約 50 m の乳濁色	〃
5月1日	直径約 30 m のあざやかな緑色噴出点	〃
5月12日	噴出点 3 か所、直径約 200 m の白色	〃
5月13日	噴出点 1 か所、青白色変色水、40 度および 230 度の 2 方向に幅 200 m、長さ 900 m	〃
5月16日	コバルトブルーの変色水	〃
5月17日	東西 60 m 南北 300 m の変色水域	〃
5月21日	幅 100 m、長さ 600 m のうすい変色水	海上保安庁 YS-11(701号機)
5月22日	噴出点 20 ~ 30 m、長さ 100 m (写真 1)	〃
5月25日	濃いブルーに続いて薄いブルーの変色水	海上自衛隊 P 2 J
6月8日	直径 140 m の乳白色変色水。噴出の周期 4 分	〃
6月18日	うすいコバルト色の変色水	海上保安庁巡視船いず
7月14日	直径約 3 km の変色水	海上自衛隊 P 2 J

7月23日	ごく薄い変色水	海上保安庁YS-11(702号機)
8月11日	変色水認められず	海上自衛隊 P 2 J
8月15日	”	”
9月7～8日	非常に薄い青緑色変色水, 幅 250 m, 長さ 600 m	海上保安庁YS-11(701号機)
10月14日	薄い水色変色水	海上自衛隊 P 2 J
11月15日	直径 60 m の濃い乳白色, そのまわりはコバルトブルーの変色水。140度方向に幅 300 m, 長さ 5.5 km	”
12月 8日	直径 90 m の変色水を周期的に作る	”
12月23日	噴出点 2 か所。幅 90 m, 長さ 1400 m および 1800 m の帯状の緑色変色水	”
1978年 1月10日	幅 300 m, 長さ 5.5 km のうす緑色変色水	”
1月24日	直径 180 m の濃い乳白色変色水。340度方向に幅 50 m, 長さ 2.7 km の薄い乳白色変色水	”
1月25日	直径約 50 m の白緑色噴出点。その周囲に幅 200～300 m, 長さ 3.6 km の緑色～薄緑色変色水 (写真 2, 3)	海上保安庁YS-11(701号機)
2月23日	幅 50 m, 長さ 180 m の薄い緑色変色水が東側にのびる。	海上自衛隊 P 2 J
3月24日	直径 90 m の白色噴出点, 240度方向に幅 90 m, 長さ 3.6 km の変色水	”
4月13日	360度および 180度方向に幅 90 m, 長さ 1.8 km の緑色変色水	”



写真1 福德岡の場 昭和52年5月22日

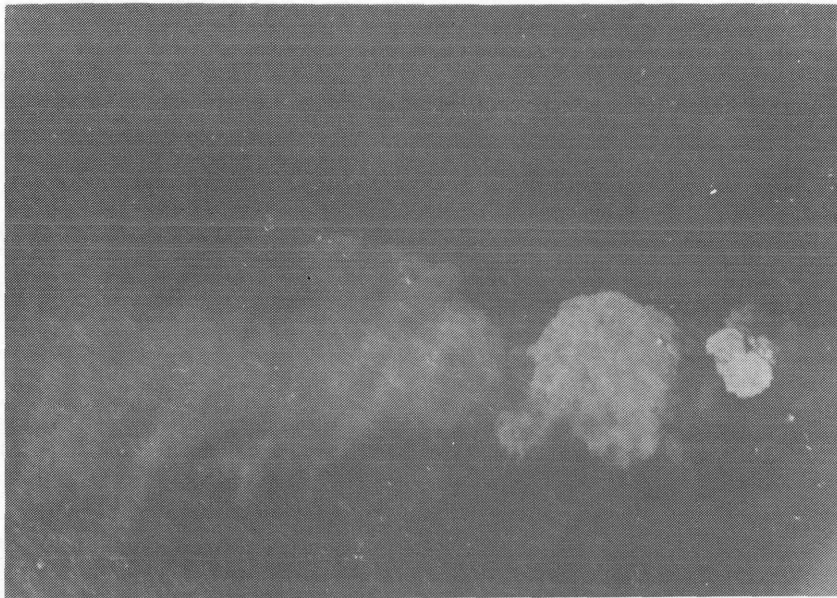


写真2 福德岡の場 昭和53年1月25日



写真3 福德岡の場 昭和53年1月26日

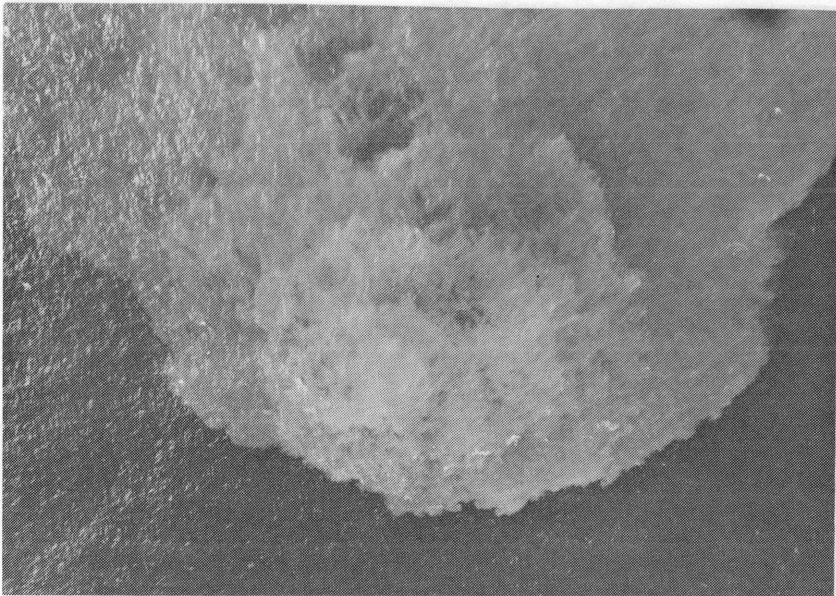


写真4 福神海山 昭和53年1月26日